

「共和党保守連合と宗教保守派の関係について」 久保文明(東京大学法学部)

はじめに

1. アメリカの保守主義の諸潮流

経済的保守主義: 小さな政府、減税、規制緩和、市場原理重視

個人的自由・リバタリアニズム(完全自由主義): Leave us alone, 銃所持の自由

宗教的保守主義: キリスト教原理主義、人工妊娠中絶禁止、進化論教育反対、反共主義

安全保障・外交での保守主義: 「力による平和」、力の優位、米国の主権へのこだわり

自由貿易主義: 関税障壁への反対、FTA 推進、反保護貿易主義

新保守主義: アメリカの使命感と道徳主義、敵味方の峻別

孤立主義・保護主義・排外(反移民)主義: ブキャナン、Eagle Forum

2. 共和党の変化----保守主義運動の展開

1955: ウィリアム・バックリー2世が『ナショナル・レビュー』誌を創刊

1964: バリー・ゴールドウォーターが共和党大統領候補に。しかし本選挙で惨敗。

1950s-1970s の共和党: 穏健派の優位(アイゼンハワー、ニクソン、ロックフェラー、ジャヴィッツ、フォード)

1980: ロナルド・レーガン当選。初の本格的保守政権(1981-89)

1994: 連邦議会上下両院にて 40 年ぶりに共和党が多数党に。「アメリカとの契約」

2000: G.W.ブッシュ当選。レーガン政権以上に保守的政権に(2004 再選)。

3. 共和党保守連合

反増税運動 Americans for Tax Reform

イデオロギー保守 American Conservative Union

中小企業 National Federation of Independent Business

銃所持団体 National Rifle Association

反環境保護団体 Defenders of Property Rights

反労働組合団体 National Right to Work Committee

保守系シンクタンク Heritage Foundation

外交タカ派団体 Center for Security Policy

保守系弁護士団体 The Federalist Society

宗教保守派・・・次項参照

4. 宗教保守派の諸相

Christian Coalition

Eagle Forum

Family Research Council

Independent Women's Forum

National Right to Life Committee, Inc.

Toward Tradition

Traditional Values Coalition

Home School Legal Defense Association

Concerned Women for American

Citizens for Community Values

5. 争点

減税(とくに家族に関して) marriage penalty

宗教的自由、キリスト教徒の迫害、女性・児童に関わる人身売買、アメリカの税金を使った人工妊娠中絶

社会保障の部分的民営化

教育

6. 保守連合の中の緊張関係

グローバリゼーションとの関係

イラク戦争をめぐって

金権政治をめぐって

インディアンのカジノをめぐって

移民、通商との関係

リバタリアンと信仰派

1992, 1996 年の宗教保守派の「突出」と 2004 年の「貢献」

7. むすびにかえて

第二期ブッシュ政権の陣容と日米関係

村田 晃嗣 (同志社大学)

1 1期目のブッシュ政権

(1) セキュリティー・チームの陣容

(2) ブッシュ・ドクトリン

自由の勝利

先制攻撃

単独主義

(3) イラク戦争

2 2期目のブッシュ政権

(1) セキュリティー・チームの陣容

ボルトン人事の衝撃

(2) 2期目の戦略

先制攻撃

民主主義の拡大

単独主義

3 日米関係への影響

(1) GPRと沖縄基地問題

(2) 国連改革

(3) 中国問題

参考) トマス・バーネット『戦争はなぜ必要か』(講談社インターナショナル)